

令和元年度 第2回上小阿仁村総合教育会議 会議録

- 1 日 時 令和2年2月7日 金曜日
- 開会：午後3時30分 閉会：午後4時50分
- 2 場 所 上小阿仁村生涯学習センター 第一研修室
- 3 出席者
- | | | | |
|-----|------------|--------|---------|
| 構成員 | 上小阿仁村 | 村 長 | 中 田 吉 穂 |
| | 上小阿仁村教育委員会 | 教育長 | 高 橋 充 |
| | | 委 員 | 保 坂 康 雄 |
| | | 委 員 | 長 井 広 子 |
| | | 委 員 | 矢 旗 政 則 |
| 事務局 | 上小阿仁村教区委員会 | 事務局長 | 齊 藤 幹 雄 |
| | | 事務局長補佐 | 大 沢 誠 子 |
- 4 議 事
- (1) 令和元年度10月から1月までの教育委員会の主な動きについて
 - (2) 令和2年度の教育委員会の主な施策（案）について
 - (3) 村の施策全般について
- 5 会 議 録 別 紙

別紙（会議録）

齊藤事務局長

ただいまより令和元年度第2回上小阿仁村総合教育会議を始めたいと思います。初めに村長から挨拶をお願いしたいと思います。

中田村長

皆さんご苦労様です。本日は大変お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。上小阿仁村総合教育会議を開催するにあたり、高橋教育長をはじめ教育委員の皆様には村の教育行政の推進につきまして大変ご尽力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

さて、第1回目の総合教育会議においては、皆さんからの貴重なご意見を伺い、新しい上小阿仁村教育大綱が改訂されました。少子化の中で子どもを育てるということは、学校だけでなく地域と一体となって課題を克服し解決していくという仕事もあります。保護者と教師、学校と地域が問題を共有し、子ども達の成長につなげていきたいと考えております。

さて、昨年10月、村と姉妹都市を結んでおります台湾の萬巒郷の研修事業に上小阿仁小学校の先生が参加し、熱烈な歓迎を受けて貴重な体験をされてきたと伺っております。その中で現地の校長先生から、以前、小中学校が統合する前に交流のあった文化事業を復活させたいという要望がございました。

そこで来年度はこれを形にできるよう進めていきたいと考えております。

また、これまで住民福祉課で運営しておりました認定保育園を来年度から教育委員会に移管して運営していくという形で現在進めているところでございます。このことにつきましても、どうか御理解の程よろしくお願い申し上げます。

限られた時間ではありますが、皆様の忌憚のないご意見をお願いいたしまして挨拶といたします。本日はよろしく願いいたします。

齊藤事務局長

それでは協議事項に入ります。議事の進行につきましては、上小阿仁村総合教育会議設置要綱第4条の規定により会長である村長に進めていただくことになっております。よろしく願いいたします。

中田村長

それではさっそく議事の進行をさせていただきます。

(1) 令和元年度10月から1月までの教育委員会の主な動きについて、事務局から説明をお願いします。

高橋教育長

※ 『令和元年度10月から1月までの教育委員会の主な動き』について説明

中田村長

10月から1月までの教育委員会の動きについて説明頂きました。何かご質問等あればお伺いしたいと思います。

矢旗委員

スポ少ミニバスケットですが、低学年も入って少ない人数で優勝したということは村としても明るいニュースだったなと思います。子ども達の頑張りはもちろん、指導者の努力や保護者の支えにも感謝したいなと思います。

中田村長

子ども達は一生懸命に力の限りを尽くしたのではないかと思います。親の会の皆さんもまとまって頑張ってくれたという印象を持ちました。

矢旗委員

体育館のほうもミニバスに開放していただいてよかったと思います。

高橋教育長

子ども達の数が少なかったので出るチャンスが多く、みんな出場することができたということで非常によかったと思います。

中田村長

2年生から出ているんですね。10名しかいないので必ず出なければいけなかったんですね。大変だったと思いますが自信にもなったことでしょうか。明るい話題がまたひとつ増えてよかったなと思います。

他になれば、(2)令和2年度の教育委員会の主な施策(案)について説明をお願いします。

齊藤事務局長

令和2年度の主な施策(案)についてですが、現時点で予算要求しているものであって確定したものではありません。今後、3月の定例議会において決定することになりますのでご留意願いますようよろしくお願いいたします。

※ 『令和2年度の教育委員会の主な施策(案)：学校教育関係』について説明

高橋教育長

屋内運動場というのは体育館のことですか。

齊藤事務局長

はい、体育館です。

高橋教育長

今後はどういう見通しですか。

齊藤事務局長

体育館を建て直すか、それとも大規模修繕により今のものを活用するかということを見極めた計画書を作成します。計画書がなければ交付金事業を行うことはできません。交付金事業を実施するためには、長寿命化計画というものを立てて、その計画に基づいて実施することにより、事業費の3分の1が国から助成されることとなります。残りの部分については学校教育債というものが使われるのですが、村の場合は主に過疎債を当てると一番還元率がよいということで、そちらのほうを活用したいと思います。それも過疎計画の中に盛り込むためにもこの長寿命化計画の作成が必要になってくるということです。

矢旗委員

新年度の各案については人員的にも経済的にも十分だと思うんですが、何か取り止めた事業とかほぼ継続の見通しだったのに中止したりしたといった事業はあるものですか。

齊藤事務局長

学校関係では特にないと思われます。この後の社会教育・生涯学習の部分に出てくるものと思いますが、今、ALT先生とNETの先生が行っている英会話教室の今年度分が3月で終了するのですが、二人の4月以降の負担部分が少しきつという話があります。受講生も減ってきているということもありますので内容等を検討したいと思います。経費的には掛かっていませんので学校のほうにも調整してもらっていますが今後の検討課題となっております。

長井委員

海外研修はやはり高校生だけが対象なのでしょうか。

中田村長

中学生は姉妹都市との交流事業があつて、台湾と二重になってしまう可能性がありますね。

長井委員 個人的には中学生の参加についてはいいと思うのですが、村のほうとしてはどう考えているのかということと、もし村の方でよいのであれば保護者の皆さんの考えがどうなのかということがあります。

中田村長 もしやるとすれば交換留学のように、こちらから行って向こうからも来てもらい子ども達の家にも宿してもらおうという形で行ってはどうかなと思います。親の方も参加できますし、兄弟もいるので長続きするのではないかなと思います。

長井委員 再度確認しますが、例年行っているシアトルへの海外研修は中学生は対象にはならないのですか。

高橋教育長 もう少し様子を見て、高校生の参加者が充足しない場合は中学生も対象にしているのかなという気もします。

長井委員 中学生を対象とした海外研修を行っている所は結構ありますし、上小阿仁村でもこの活動には力が入っていますので中学生も対象にしてよいと思います。

中田村長 元国際交流員のつながりで春休みにカナダへ行ったこともありましたね。行けばやはり子ども達は変わりますよね。

高橋教育長 それでは高校生が充足しない場合は、中学生も対象とするということではよろしいでしょうか。

中田村長 いいと思います。

長井委員 ありがとうございます。

保坂委員 生活支援サポーターについてですが、小学校と中学校に特別支援学級がひとつずつありますね。これを見るとサポーター3名のうち普通学級2名、特別支援学級1名となっていますが、うまくまわっているのでしょうか。

高橋教育長 うまくまわっています。もっとフェイクして固定しないでいろんな学年に行くようにと話しています。だから中学校へ行ったり小学校へ行ったりいろんな形でやっているようで大変うまくいっていると思います。ただ、子ども達が固定されてしまう感じがあるので、どの先生がどの子どもを中心にと決まってはいるのですがいろいろと動いてくれているようです。

保坂委員 そのようにサポートの動きの範囲を広げていただければありがたいと思います。

高橋教育長 来年度は国の制度の変更で待遇もずいぶん変わってきます。より手厚い待遇になります。

保坂委員 それはいいことですね。そのことがサポーターのやりがいにつながるものであればよりよい結果になるかなと思います。

高橋教育長

体育館の暗幕設置はいつ頃になりますか。

齊藤事務局長

後期で発注したいのですが、その前に体育館の更新の部分を見極めなければなりません。新しくした時にせっかくつけたカーテンが1年か2年で代えなければならないということにならないようにしたいと思っています。例えば、計画で建て替える必要だとすれば、その窓に合った物を購入する。もしくは、代行修繕だとすれば今はカーテンが痛んでいて待ったなしの状態ですので、更新を待ってから設置するわけにはいかないと思います。急ぎ設置したいと思いますので少し遅れるかもしれませんが無駄にならないような方法を考えたいと思います。

中田村長

体育館は建築して何年になりますか。

齊藤事務局長

50年を超えていると思われます。

中田村長

そうすると設計業者に体育館を審査してもらわなければいけないということですね。

齊藤事務局長

そういうことです。手を加えて延命するのか、それとも一回無くしてこれから建てるものを長持ちさせていくのかということと比較検討する必要があります。

中田村長

それをやるのですね。

齊藤事務局長

やらないと単独で立てなければいけなくなります。

長井委員

その間の体育館はどうするのですか。

齊藤事務局長

それも要検討になります。今と同じ場所に建てるのか場所を代えるのか。また、建て替えるまでの間、代替となる施設を活用するのかどうかということです。

中田村長

取り壊して建てるしか場所がないですね。

齊藤事務局長

校舎と体育館の建設時期がずれています。仮設校舎を建てた時に一緒に体育館も建てていればよかったのですが、今の校舎を使いながらトレーニングセンターを使うとすれば、歩いて行くかマイクロバスを使うのか。また、使用する時間を午後に限定するとかといった工夫が必要になってくると思います。

※ 『令和2年度の教育委員会の主な施策（案）：社会教育関係』について説明

矢旗委員

来年の市町村対抗駅伝ですが会場はどこになりますか。

齊藤事務局長

たぶん仙北市ではないかということですが詳細についてはわかっていません。

長井委員

五城目間駅伝の代わりになるものは具体的に何か出ているのでしょうか。

高橋教育長 今のところは太鼓フェスティバルと万灯火のバスケットボール大会に五城目も呼びたい。そこまでは決まっています。

長井委員 そうすると全てをいっぺんに行うわけではないのですね。

高橋教育長 五城目の町民運動会にはこちらから行くことになっています。また、老人クラブの清水会長が五城目との交流を今後話題にしていきたいと話しておられました。

中田村長 駅伝については、五城目のほうから止めたいと言ってきたのですよね。

高橋教育長 五城目では行事も多いし職員も少ないので大変だということでした。

長井委員 行事の数を増やすのではなく、上小阿仁と五城目の行事を一緒にできないものかなと思うのですが。

中田村長 昔は中学校の全部の部活が交流していました。国道が整備されたことが交流のきっかけとなり、そのなごりが五城目間駅伝だったんです。この事業は五城目の町ではなく体協が運営しているんです。体協は人数がいまませんから厳しいと思います。

矢旗委員 成人式に関連して、若い人達の何かしらの思いとか願いを反映するという意味で若者の考えを把握しておく必要があると思うんです。若い人達のためにこの成人式という機会を利用して、参加してくれた成人の皆さんにアンケートをとるとか、役場の方とざっくばらんに話す場を設定するとか、そういうことがあればいいのではないかと思います。

高橋教育長 そうですね。式が終わってからもいいですね。

齊藤事務局長 講演会ということではなく、先輩からの何かという形のものでいいですね。

中田村長 どこかの市町村では成人式に合わせて行っていますね。

矢旗委員 若い人同士で話すのもいいのですが、そういう機会もあっていいのかなと思います。

中田村長 いろいろな方法があるかと思います。成人式の案内を出す時に何か添えるといいかもしれませんね。

長井委員 トレーニングセンターの器具室の扉が壊れています。何かあってからではうまくないので修理をした方がいいと思います。

齊藤事務局長 確認していました。対応が少し遅れていて申し訳ありません。

矢旗委員 今年は筋トレの器具は入らないのですか。

齊藤事務局長 今年は購入に至りませんでした。これは宝くじの補助事業です。ただし少額だと対象にはなりません。150万円以上でなければいけないという制約があります。

齊藤事務局長 一度はそれを使って購入しようとしたのですが、まずは留まったという経緯もありますので、こういう物が欲しいという要望が村民からあがってくれば検討する材料にはなると思います。

中田村長 トレーニングルームの照明は少し暗いですね。

齊藤事務局長 今年は照明をと思ったのですが最終的に交換の計画がなくなっていました。

長井委員 やはりトレーニングセンターを利用する方は若い方が多いのですか。

齊藤事務局長 若い方もしくは今までウォーキングをしていた方が利用しているようです。

中田村長 今後はシャワーをつけろといった要望もあるかもしれませんね。

齊藤事務局長 最終的には必要なものだと思います。

長井委員 シャワーをつけるとなるとかなり経費がかかりますか。

齊藤事務局長 今、ボイラーが故障中でお湯は事務室のガス湯沸かし器で対応しています。シャワールームの設置となると施設全体のボイラーが必要になります。それをやるとなると大規模な修繕が必要となり維持費も掛かります。

中田村長 まだ検討段階ですが、この間、議長と他の自治体の学校関係の例を持ち寄って話し合ったのですが、入学時の親御さんを支援するという意味で入学祝い金を小・中・高に支給できないかということ。今、高校生の通学に関してはバス通学の生徒にだけ補助金を出していますが、一律に一万円とかの補助に変えることはできないかということが話題になりました。高校生の通学にはバス通学と個人の車での送迎がありますが、通学方法は違っても子どもに対する助成であるからみんなに公平にという意味でもよいのではないかと考えています。

中田村長 ※ 『3 村の施策全般』について

高橋教育長 資料はありませんので、皆さんからご自由にお願います。

矢旗委員 議会で塾について検討したいということがありました。その後どのようなことになったのでしょうか。

中田村長 東成瀬村は講師を募集しています。ここでもということになれば、保護者の皆さんと上小阿仁村に本当に塾が必要なのかということについて話し合う必要があると思います。学校の先生は、今現在は学校としてはそこまでの必要性は考えていないと言っています。今、学校では一生懸命に補習の形での学習も行っています。それに対してこちらから塾への募集をかけるとなると二つに分かれてしまうかもしれません。

矢旗委員 その可能性はありますね。

中田村長 10人前後の数の少ない中で行っていいのか。そのへんを新年度に入ってから調べてみなければと思っています。あまり先行して行くと勇み足になる可能性も考えられます。生徒の人数がある程度であればそれもいいかもしれませんが、今後も学校と検討していこうと思っています。

保坂委員 塾といっても受験のための塾ですよね。通年では多分行っていないと思います。通年ではない形で行うとすれば、今は業者の方がしっかりしたデータを持っていてきちんとした指導ができるので、そちらの方が効果があっていると思います。むしろ、そのことに対して助成してあげた方が保護者はありがたいと思うかもしれません。今、塾だと親が車で送っていきますよね。その交通費にあてるという方法もあるのかなと思います。

中田村長 確か五城目にも就学援助のような塾があったように思いますが。

齊藤事務局長 五城目には塾はあります。
小坂町が町でやっている塾というのは東北各地をひとつの会社が塾の場所を提供してくれる地域を廻るものと思われま。東成瀬村は村営の塾をやっているといいますが、村のホームページには記述がありませんでした。

高橋教育長 「学力日本一の村」という本があるんです。その中に塾のない村と書かれています。塾なんかやっていないのだと。生徒達が一生懸命勉強をしているのだと。それもあっていいのではないですか。

齊藤事務局長 去年、一村議会議員から助言がありまして、夏休みと冬休みにここの生涯学習センターの研修室を生徒の自習室として開放しました。実際に来て勉強している生徒もいます。ただそれがみんなに広く伝わっているかどうかというと、まだあまり浸透しているとはいえないと思いますが。

長井委員 いずれにしても普通の勉強でしたら、上小阿仁小中学校は生徒の人数が少ない環境で学習できるので頭によく入ると思います。人数の多い学校では考えられないことですよね。

矢旗委員 冬休みに中学校3年生の生徒が毎日のように学校に行って勉強していました。

長井委員 先生がチェックを入れてくれています。

中田村長 補習のようにですね。

高橋教育長 非常によい形態だと思います。

保坂委員 先生は子ども達のことを一番よくわかっていますし、それが理想の形だと思います。

高橋教育長 長期休みの最後3日くらいを、上小阿仁中に塾の講師に来てもらって集中的にや

高橋教育長

つてみるのもいいかもしれませんね。

長井委員

刺激はあると思います。

中田村長

それではそういった感じで新年度は考えてみたいと思います。

矢旗委員

コアニティーの看板を代えるという話がありましたがどうなったのでしょうか。

中田村長

発注しました。いろいろ意見が出ましたが、12月議会でこちらに任せて欲しいと提案して、100万円くらいが適当ということで見積もりをもらって3月までの工期で発注したところです。

教育委員会についても職員が3名と臨時職員が2名ということで、これでは村の教育行政は成り立たないということで、新年度はもう2名の職員を配置する予定です。それと保育園を住民福祉課からこちらの教育委員会へ移すということも進めています。

その他に何かありますか。もしなければこれで終わりたいと思います。ありがとうございました。

齊藤事務局長

それでは、令和元年度第2回上小阿仁村総合教育会議を閉会します。ありがとうございました。